


# 第122回池間島ヒャーリクス



発行所  
NPO法人いけま  
福祉支援センター  
電話：75-2870

5月29日、ヒャーリクスが開催されました。朝から雨風が強く、荒れた天候からのスタートでしたが、大主神社の神様も味方をしてくれたのでしょうか。開会式を迎える頃には雨も止み、船を漕ぎだす頃には陽射しも出てくるなど、奇跡的な回復をみせました。▼池間小中学生全員によるスタンバイで幕をあけ、ウガンハーリーで豊漁・航海安全を祈願したのち、くり船競漕による熱戦が繰り広げられました。青年分団別、女性分団別、ムトゥウヤくり船競漕と続き、池間小中学生による水中リレー、船上綱引き、餌まき、宝探しと子どもたちのプログラムも目白押しでした。▼職域くり船競漕には21チームがエントリー。今年は中学生も職域對抗競漕に参加すべく、毎週港内で船漕ぎの練習をしていました。▼お昼は昭和35年生有志



による豚の味噌煮の炊き出しや、刺身、豆ごはんなどが用意され、参加者に振舞われました。▼午後からは、水浜広場にて相撲大会が行われました。小学校の部では、久貝海鳳さん、中・高学年女子の部では奥平類さん、男子の部では与那覇康太さんが優勝。中学校男子の部では尾崎賢工さん、女

子の部では奥平姫音さんが優勝。▼一般の部では、予選からハイレベルな取組みが繰り広げられました。浜川泰成教頭先生と佐渡山恒克さんによる決勝戦では、手に汗握る熱戦で会場も一層熱く盛り上がりました。一般の部の優勝は佐渡山恒克さんでした。(三輪智子)

## 【くり船競漕結果】

▼青年分団別競漕：第1位 西分団・第2位 東分団・第3位 中分団▼女性分団別競漕：第1位 西分団・第2位 中分団・第3位 東分団▼ムトゥウヤくり船競漕：第1位 前里ムトゥ・第2位 アギマスムトゥ・第3位 マイヌヤムトゥ▼職域くり船競漕：第1位 池間学区体育協会・第2位 みゃーしゃー・第3位 昭和39年生



熱戦！相撲大会

# うながや-や-のみそづくり

5月27日(土)14時より、シマ学校「うながや-や-のみそづくり」を開講しました。生き生き教室のおばあたち、学童の子どもたち、それから伝統的なみそづくりに興味のある人たちが島内外から集まり、参加者は全員で70名ほどになりました。▼まず最初に、仲原ソヘ子さんにみそをつくる時に大事な池間言葉のおまじないを習いました!



「タウテー ウフユバイン スウーシミー カギユーンカイユーン スウーカーシミー フィーサマティー」。意味は「このみそが豊かな世をもたらし、たくさんの祝いにこのみそが使われますように」です。

大豆は前日に水に浸しておき、当日は朝から薪の火で炊きました。麦麴は、先日山城美枝さん家で仕込んだものです。茹でた大豆をムシロに広げ、温度を冷ましてから麴を振りかけます。手を使って大豆と麴をよく混ぜ合わせます。混ぜ合わせたものを臼に入れて、杵で搗きます。このとき塩も入れます。参加者みんなで力を合わせて大豆15キログラムを搗きました。搗いて滑らかになってきたら、冷ました大豆のゆで汁と泡盛を混ぜたものを入れてなじませます。ほどよい固さになったら甕に詰めます。



子どもから大人まで、たくさんの方がみそを搗きました。おいしいみそになりそうです!最後に甕に塩を擦りこんで、搗いたみそを詰めます。詰め終わったら表面にまた塩を振ります。蓋をして、半年ほど置き、熟成を待ちます。開封が楽しみです。(木下)

## 池間学区体育協会新会長誕生



与那嶺順郎さん

今年度池間学区体育協会会長に与那嶺順郎さんが就任しました。▼与那嶺順郎さんは昭和50年生まれ。沖縄県立翔南高校海洋科学科卒業。高校のときにはカヌー部に所属、高

校総体で優勝したことも。最近の趣味はタマン釣り。休日は投げ釣りを楽しんでいるとのこと。▼現在体協のメンバーは約25人。ここ数年、若い世代が体協に増えてきていることがうれしいと語る順郎さん。特に、池間島外に住んでいる人でも、池島出身ということで、島のイベントの際には加勢



しに帰って来てくれる、そういう気持ちがとてもうれしいとのこと。最後に池間島のおじいおばあたちへ一言は、「池間島は安心して住めるねと言ってもらいたいです。んなまからどう、いけま!」。今月は全宮古体育大会が始まり、また出番が増える体協のみなさん。池間島体協のこれからの活躍に期待しましょう。(木下)

### 今月の予定

- ★6月9日(金)オカガニ観察会
- ★6月10日(土)シマ学校「アダナス」